



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 情報・宣伝部
2022年10月14日 No.525

《2022年度 年末手当series③》

会社は黒字！社員の生計費は赤字！

生活のためには年間最低6ヶ月が必要だ！

○会社施策は社員の努力の積み重ねでつくりだしている！

- ・10月1日に東北本部と首都圏本部が新たに発足しました。これまでの現業機関における柔軟な働き方にとどまらず、本社も含めた各支社における企画部門の再編、そして現業機関も含めた業務の見直しなどにより、輸送サービス、生活サービス、IT・Suicaサービスの相乗効果が発揮できる会社組織づくりが進められています。
- ・「変革2027」の実現に向けた会社施策1つひとつは、まさに社員1人ひとりの努力の積み重ねによってつくられています！

○黒字化の実現に向けた社員の努力と協力！

- ・社員自らの業務を確実に遂行することをはじめ、コストダウンの取り組みを職場から担い、黒字化の実現に大きく寄与してきました！
- ・新型コロナウイルス感染「第7波」の中、安全・安定輸送を確保し、公私を問わず社員自らの感染予防だけでなく、急な勤務変更などにも協力してきました！

○社員は賃金・手当の大幅削減で生活の維持すらままならない！

- ・2021年度賃金改定時における定期昇給2係数の削減をはじめ、2年連続の低水準の期末手当支給によって年収は大きく減収し、社員は生活の維持すらままならない実態があります！

○相次ぐ値上げラッシュに家計は火の車！

- ・2022年に入り、多くの生活必需品が値上げとなりました。さらに10月から社員の生活に欠かせない光熱費や燃料費、食料品が値上げとなるなど、社員の多くは月例賃金だけでは生活できない実態にあります！

年末手当3.7ヶ月分！

期末手当年間「最低6ヶ月分」を実現しよう！